

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：工鉱業費 目：工鉱業振興費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>教育</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>リカレント教育の充実</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td>産業イノベーション</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>産業DX・イノベーション人材の育成・集積</td> </tr> </table>	領域	教育	取組の方向	リカレント教育の充実	領域	産業イノベーション	取組の方向	産業DX・イノベーション人材の育成・集積
領域	教育									
取組の方向	リカレント教育の充実									
領域	産業イノベーション									
取組の方向	産業DX・イノベーション人材の育成・集積									
担当課	産業人材課									
事業名	イノベーション人材等育成・確保支援事業 (一部国庫)【一部新規】									

目的

高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材などイノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進し、企業の新分野への展開や地域産業の活性化等を図る。

事業説明

対象者

- 県内に本社又は本店を有する中小・中堅企業等
- 県内高等教育機関の理工系情報学部・学科等で学ぶ学生
- 資格・知識の習得後、県内企業の成長や県内産業の持続的発展に寄与しようとする者
- アジアをはじめとする優秀な海外人材

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
プロフェッショナル人材マッチング支援事業	プロフェッショナル人材戦略拠点の運営 ・大都市圏等のプロフェッショナル人材と県内中小企業等をコーディネート ・県内の受入企業の掘り起し(地域金融機関や地元経済団体等と連携) ・大都市圏等の人材の掘り起し(民間人材紹介会社等と連携) 人材受入コストの支援 ・人材紹介社会へ支払う手数料の1/2を助成(上限額100万円) プロフェッショナル人材戦略拠点の機能強化 副業・兼業支援 ・人材紹介会社へ支払う業務手数料に100分の35を乗じて得た額の1/2を助成(上限額25万円)	(債務 1,000) 89,222	(債務 1,000) 85,914	74,436 []
イノベーション人材等育成事業【一部新規】	個人向け貸付金【新規】 ・情報学部・学科等で学ぶ学生の県外流出の防止と県内定着を促進するため、奨学金を貸与(5万円/月) 8年間県内企業等に就業した場合は全額返還免除 ・地元就職を促進するための事務費(制度周知、協議会運営等)		(債務 360,000) 2,000	1,105 []
	個人向け貸付金 ・広島県の産業発展に不可欠なイノベーションの創出に寄与すると認められる専門職大学院の課程等での修学に要する費用の支援 課程修了後、8年間県内企業等に就業した場合は全額返還免除	(債務 88,000) 68,738	(債務 88,000) 53,738	48,696 []

	企業向け補助金 ・新たな事業展開、競争力強化につながると見込まれる社員の国内外研修に派遣する費用等の支援 【補助率】長期研修：補助対象経費の2/3以内 その他研修：補助対象経費1/2以内			
広島県ものづくりグローバル人材育成事業	産学官が連携し、アジアをはじめとする優秀な理工系留学生を受け入れ、ものづくり企業のノウハウを活かしたカリキュラムによる人材育成を実施 ・留学生への奨学金支給（10万円/月、負担：企業1/2・県1/2）	（債務 8,100） 11,298	（債務 8,100） 11,098	9,238 []
	合 計	（債務 97,100） 169,258	（債務 457,100） 152,750	133,475 []

令和4年度6月補正予算を含む。

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
プロフェッショナル人材の正規雇用人数(累計)	283人	345人 (R3~4累計)	660人 (R3~4累計)
(参考)マッチング率 (成約数/企業訪問件数)	32.1%	22.0%	28.6%
県内企業における高度で多彩な産業人材の育成数(累計)	23人	90人 (R3~4累計)	79人 (R3~4累計)
高度外国人材の県内企業への就職者数(累計)	7人	12人 (R3~4累計)	12人 (R3~4累計)

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

【プロフェッショナル人材マッチング支援事業】

プロフェッショナル人材の正規雇用人数については、「広島県プロフェッショナル人材戦略拠点」を運営し、地域金融機関等と連携した県内の受入企業の掘り起しや、民間人材紹介会社等と連携した大都市圏等の人材の掘り起しを行うとともに、人材受入コストの支援を行った結果、目標を達成することができた。新事業展開等企業の成長には、デジタル人材等のプロフェッショナル人材の活用が不可欠との認識に至りながら、コストへの負担感からプロ人材の採用に抵抗感のある経営者も少なくないため、引き続き多様な就業形態によるプロフェッショナル人材の集積を図っていく必要がある。

【イノベーション人材等育成事業】

県内企業における高度で多彩な産業人材の育成数については、新型コロナへの対応を踏まえた事業見直しにより、令和2年度に新規募集を休止した影響が令和3年度にも一部残っていたが、企業

の経済活動が一定程度回復するなど新型コロナの影響が限定的となってきたことから、県内企業の社員の育成や高度な知識の習得に対する意欲が高まり、令和4年度の単年度目標は達成した。県内中小・中堅企業等における産業DX・イノベーション人材等の育成機運をさらに高めるため、引き続き県の補助金・貸付金制度の一層の周知を図り、新たな制度利用企業等の掘り起しを図る必要がある。

【広島県ものづくりグローバル人材育成事業】

留学生の就職先確保のため、人材獲得の可能性の高い企業を抽出し、訪問及びWEB面談を行い、県内企業へ留学生の特徴や魅力等を積極的に情報発信した結果、目標を達成することができた。

受け入れ理工系留学生への継続的支援を実施し、就職先県内企業の確保を促進するため、さらなる新規会員企業の獲得を図る必要がある。

令和5年度の実行方針

【プロフェッショナル人材マッチング支援事業】

デジタル人材等の産業構造の変化に対応した新たな人材の活用を促進するため、大都市圏を中心に増加している副業・兼業を含む多様な人材活用を支援することにより、地域への人材還流と県内中小企業への「攻めの経営」への転換を促していく。

【イノベーション人材等育成事業】

情報系の学生の転出抑制及び県内企業等への定着促進を図るため、情報系の学生に対する奨学金の貸付を開始する。あわせて、県内就職・定着に向けた奨学金制度の実効性を確保するため、産学官連携の協議会において、地元就職促進に向けた施策等について検討する。

デジタル技術を活用した新たな事業の創出等を行うことができる人材育成を目的とする企業向け補助金「デジタル人材育成枠」を創設し、DX推進に資する知識・技術の取得のための研修について補助率を上乗せし、産業DX・イノベーションを担うデジタル人材の育成がより一層推進するよう取り組む。また、信用調査会社の調査等に基づく制度利用可能性の高い企業や過去の制度利用企業への優先的な訪問やSNSやWEB等を活用し、制度の積極的な利用促進を図る。

【広島県ものづくりグローバル人材育成事業】

信用調査会社の調査や過去に接触した広島県ものづくりグローバル人材育成協議会に参加する可能性の高い企業等へ直接営業等を実施することにより、協議会の会員企業数の拡大を図るとともに、会員企業や会員大学と連携し、新たな人材確保策や協議会の在り方の検討・実施を行い、県内企業への就職数のスケールアップに取り組む。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：高付加価値型農業推進費	領域	農林水産業
担当課	販売・連携推進課	取組の方向	地域の核となる企業経営体の育成
事業名	食のイノベーション推進事業（単県）【新規】		

目的

生産から販売に係る様々な企業と農業経営体が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、広島県の誇る新商品や新サービスの提供等、新たなビジネスを創発する取組を進めることにより、農業経営体の「稼ぐ力」を高める。

事業説明

対象者

農業経営体、飲食業者、食品加工業者、流通業者等

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
食のイノベーション推進事業	新たなビジネスを創発するプロジェクトの立ち上げ ・ 新たなビジネスに取り組もうとする農業経営体と様々な企業のニーズ発掘 ・ 社会環境変化を捉えた、新たなビジネスの発想と実現に向けた事業構想の作成支援 ・ 農業経営体と企業のマッチング及びプロジェクトの実行計画の作成支援 プロジェクトの実行計画に基づく新たなビジネスの実現 ・ 新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決支援 ・ 現地実証に係る経費の支援 【支援件数】3件程度 【支援期間】最長3年	50,000	50,000	49,920 []
合 計		50,000	50,000	49,920 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
企業経営体数	27 経営体	28 経営体	29 経営体

事業目標：

指 標 名	基準値	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
食のイノベーションによって経営発展に取り組む経営体数		3 経営体	5 経営体

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

新たなビジネスに取り組もうとする農業経営体や企業等のニーズ把握に基づき、農業の「稼ぐ力」を高めるテーマを設定し、募集した結果、農業経営体や食品加工、ITなど幅広い分野の23事業者から24件のプロジェクトの応募があった。

適合性、革新性及び将来性を評価項目として7月に1次審査を行い、6件のプロジェクトを選定し、計画の精度を高める支援をしたうえで、妥当性及び実現性の項目を加えて10月に2次審査を行い、3件（5経営体）のプロジェクトを採択した。

採択したプロジェクトに対しては、現地実証に係る経費を支援するとともに、専門家による週1回程度の定例ミーティングを行い、実証に係る課題解決を図った。

プロジェクト名	内容	令和4年度の成果及び課題
薬局 DE 野菜 (やっきょくでやさい)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の調剤薬局を活用した健康をテーマにした野菜の販売。 ・医療現場等との協業による栄養機能に着目した商品開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5店舗で導入され、販売額も徐々に増加している。 ・病院等、薬局以外でも導入を希望する店舗が現れている。 ・一方、店舗が狭く冷蔵ショーケースが導入できない、販売対応できる従業員がいない店舗があることなどが明らかになった。 ・栄養機能に着目したトマトの商品開発を開始しており、機能性に係る分析等が必要である。
HIROSHIMA HYBRID DESIGN (ひろしまハイブリッドデザイン)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄野菜等を有効活用したアップサイクル型商品や飲食店とコラボした商品の開発・販売。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな冷凍技術を活用した商品の高級スーパー等での販売が好調であったことから、新商品の開発を始めている。 ・一方、商品は手作業で製造しており、機械化や廃棄野菜の安定的な調達が必要である。
comorebi commune (こもれびコミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> ・因島における農家民宿を活用した都会在住クリエイターの移住促進と耕作放棄地を利用した手軽な就農モデルの創出。 ・クリエイターによる新商品等の開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望クリエイターの確保や農園のファンづくりのため、収穫をメインとした農業体験ツアーを開催した。 ・ネーミングやパッケージにこだわったクリエイティブな商品を開発し、首都圏で行われるイベントで販売した。 ・一方、農家民宿の立ち上げに伴う物件の取得、改修が遅れている。

令和5年度取組方向

新規採択3件に向け、新たなニーズ把握に基づいて募集テーマの追加を検討するとともに、意欲ある事業者に対して個別相談を行い、事業計画の作成などを支援する。

令和4年度に採択された3件と新規採択する3件について、実証に係る課題の解決に向けた専門家による伴走支援を行うなど、新商品や新サービスの提供等、新たなビジネスを創発する。

令和4年度採択3プロジェクトの令和5年度取組方向は次のとおり。

プロジェクト名	取組方向
薬局 DE 野菜 (やっきょく でやさい)	<ul style="list-style-type: none">・在庫確認、レジなどオペレーションの負担軽減や、小型冷蔵庫の導入を進め、取扱店舗の拡大を図る。また、取扱いを希望する病院等でも販売を開始できるよう、物流ルートを拡大させる。・引き続き、機能性表示食品の開発等を実施するとともに、有機栽培や無農薬栽培に取り組む新規就農者などの販路となるよう支援する。
HIROSHIMA HYBRID DESIGN (ひろしまハイブリッドデザイン)	<ul style="list-style-type: none">・製造を行う人材の確保や製造機器の導入等を行う。・高級スーパー等でのイベントなどの実施により、10店舗を目標とした売り場の確保等を目指す。・ブランド化に向けて、比婆牛、ケールの新商品の開発や販売に取り組む。
comorebi commune (こもればいコミュニティ)	<ul style="list-style-type: none">・農家民宿の改修を早期に完了させ、移住者の募集を行う。・メディアにPRすることにより、農業体験を希望する準富裕層を対象とした農園のファンを募集する。・首都圏の飲食店でオリジナル商品を開発し、販売を行う。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費	領域	農林水産業
担当課	畜産課	取組の方向	持続可能な広島和牛生産体制の構築
事業名	広島和牛ブランド構築事業 (一部国庫)【一部新規】		

目的

比婆牛の営業実証や、味の特長の調査など、本県の独自性等を生かした広島和牛ブランドの付加価値向上に取り組むことにより、広島和牛の「ひろしま」ブランドとしての強化を図る。

事業説明

対象者

畜産経営体、飲食店、第12回全国和牛能力共進会広島県対策協議会 等

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
広島和牛ブランド創造事業	<ul style="list-style-type: none"> 比婆牛を食べる場づくり・流通の円滑化 高級飲食店 10 店舗(うち新規店舗 7 店舗)において、比婆牛取扱店舗の拡大に向けた営業実証を実施 高級飲食店のニーズに対応できる流通の仕組みを検討 比婆牛の魅力を訴求するための科学的根拠の精度向上 比婆牛の味の特長やセールスポイントを明確にするため、味覚調査(味覚センサーによる検査や官能検査)に加え、他県産和牛との比較調査を実施 広島和牛の認知向上に向けたPR 様々な媒体を活用した情報発信や、観光業や宿泊業と連携した取組を実施 	18,714	18,714	18,629 []
広島和牛付加価値向上支援事業【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 第12回全国和牛能力共進会への出品・成果のPRに対する支援等 【実施主体】第12回全国和牛能力共進会 広島県対策協議会 【補助率】1/2 以内 	9,993	9,993	9,993 []
合 計		28,707	28,707	28,622 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
肥育経営における比婆牛飼養頭数	313 頭	600 頭	【R5.12 判明】

事業目標：

指 標 名	基準値	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
新規営業実証実施店舗 数(累計)		17 店舗	17 店舗

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

肥育経営における比婆牛飼養頭数の増加に向けて、質量ともに全国レベルにある県種雄牛の「花勝百合」の利用推進を図った結果、繁殖牛へ交配する広島血統の利用割合が増加するとともに、産子の高い評価を得ることができた。

比婆牛取扱店舗の拡大と流通課題の把握のため、県内高級飲食店11店舗で約1か月間の営業実証を3回実施する取組を行った。その結果、8店舗が継続的な取扱いを希望したことや、店舗のジャンル(和・洋・中)の組合せ次第で高級部位以外も有効活用の可能性が広がるなど、県内高級飲食店での継続的な取扱いの実現に向けた好感触を得た。一方、継続取扱いに向けた課題として、希望の部位と量が希望時期に安定的に入手できないなど、広島市内を中心とした流通分野を含めた解決すべき点が明らかになった。

営業実証において料理人や来客者の反応を調査した結果、比婆牛の魅力となる価値要素は赤身と脂のバランスや歴史などの情緒であることが明らかになったことから、料理人を対象とした生産現場の視察及び生産者との意見交換会を行うことにより、比婆牛の生産へのこだわりや歴史等の価値を料理人が来客者へ魅力として語る素地づくりを行った。

また、比婆牛の魅力となる価値要素の精度向上のため、他県産牛肉との比較試験を実施し特定の食味成分が他県産牛肉より多い傾向が見受けられた。

- 10月に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会に参加し、脂肪の質区(肉牛区第7区)において優秀賞3席(全国3席)の成績を収めた。大会期間中を通じ、本県の和牛の歴史や生産者のこだわりについて情報発信を行った。

令和5年度取組方向

比婆牛の飼養頭数の増加を促進するため、引き続き県種雄牛の利用推進を啓発するとともに、広島血統を父に持つ繁殖牛の保留を促し、比婆牛要件を満たす肥育用子牛の増産を進める。

比婆牛取扱店舗の拡大に向けて、高級飲食店での定期提供に取り組むとともに、店舗自らが比婆牛を調達できるようにするための入手経路の拡大支援や、ニーズの低い部位のメニュー開発を支援する等により全ての部位が流通できる仕組みづくりを推進する。

比婆牛の魅力となる価値要素の精度向上のため、得られた知見を基に美味しさと牛肉成分の関連性の調査を実施するとともに、比婆牛をはじめとする広島和牛のさらなる認知向上のため、首都圏での期間限定イベントの実施やSNSを通じた継続的な情報発信を行う。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費	領域	農林水産業
担当課	水産課	取組の方向	瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築
事業名	瀬戸内地魚のブランド化推進事業 (一部国庫)【新規】		

目的

瀬戸内の地魚の持つ強みや特長を生かした広島県の食のブランド化の取組を推進し、瀬戸内の地魚の認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業の構築を目指す。

事業説明

対象者

県内漁業者、市場流通関係者、飲食店 等

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
瀬戸内地魚の ブランド化推 進事業	飲食店における営業実証 ・ 季節ごとの地魚を満喫できるコース料理等の開発 ・ 来店者の瀬戸内地魚に対する評価の把握 ・ 地魚の調達から料理提供までの課題の抽出 地魚の魅力を生かした商品開発 ・ 地魚の魅力を引き出す訴求力のあるツアー等の企画 地魚のブランド化に向けた情報発信及び連携体制の構築 ・ 顧客視点に立った魅力ある情報発信内容の構築 ・ 効果的な情報発信方策の検討・実施 ・ 広島の水産関係者と流通、飲食等関係者との連携体制構築	10,000	10,000	9,932 []
	合 計	10,000	10,000	9,932 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
ICT漁獲技術導入地区数(累計)	0地区	2地区	0地区

事業目標：

指 標 名	基準値	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
取組参加店舗数(累計)		10店	12店

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

瀬戸内の魚の認知度向上を図るため、12店舗において瀬戸内の魚を満喫できるコース料理をモニターに提供する営業実証を実施した。モニターへのアンケートの結果、瀬戸内の魚に対する顧客価値を高める方法として、お店や料理人からの説明や実演が重要であることが判明した。また、瀬戸内を代表する美味しい魚の魅力を広めるため、「瀬戸内さかな」というネーミングとシンボルマークで新たな展開を図ることとした。

市場関係者や飲食関係者で構成する協議会を設置し、営業実証の取組に関する意見交換を行った結果、獲れている魚、欲しい魚、売れる魚に関する情報共有に課題があることが判明した。

庁内連携による首都圏広報の展開として、地魚とワインを訴求する県内プレスツアーを実施した。また、T A Uにおいては「瀬戸内の地魚フェア」の開催を通じて、メディア向けに瀬戸内の魚のブランドストーリーを効果的に発信した。

I C T漁獲技術導入については、漁業者に対してニーズ把握のヒアリングを行ったものの、漁業者のニーズにあった導入技術内容の検討に時間を要したため、導入に至った地区はなかった。

令和5年度の取組方向

G 7広島サミット開催に合わせてブランドネーミング及びロゴを公表するとともに、瀬戸内の魚の魅力を伝えていくため、漁獲から料理までのバリューチェーンを整え、臨場感ある説明を行った上で、瀬戸内の魚を使ったこだわりのコース料理の提供に取り組む。

市場関係者や飲食関係者で構成する協議会に、新たに漁業者も加えることで、生産から市場関係者や飲食関係者までの流通体制を構築し、情報共有の仕組みを整えるとともに、漁業者が主役となった情報発信に取り組む。

観光部門が行う観光プロダクトと連携し、「瀬戸内さかなを体験できるお店」を組み込んだ瀬戸内の魚の魅力を生かした広島周遊モデルなどの観光商品を企画し、試行する。

I C T漁獲技術導入については、効率的な操業などのための技術導入に加え、新規就業者の研修制度にデジタル技術を活用したプログラムを開発することで、技術習得の期間の短縮化と技術習熟度の向上を図る。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費	領域 スポーツ・文化 取組の方向 スポーツを活用した地域活性化 誰もがスポーツに親しむ環境の充実
担当課	スポーツ推進課	
事業名	スポーツを活用した地域活性化推進事業（一部国庫）	

目的

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

事業説明

対象者

市町、スポーツ関係団体、県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算執行額 [繰越額]
県内各地域の 取組支援 県内市町が、わがまち [※] スポーツを 推進する際に必要となるノウハウや 人脈などの人的支援を実施すると ともに、補助金による財政的支援を 行う。 ・アドバイザーボード等による ノウハウ・人脈支援 ・県内市町の実施するスポーツを活 用した地域活性化に係る取組の費 用の一部に対するの財政支援 概要 補助上限額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツを活用した 地域活性化に資する事業 （ソフト事業及びソフト事業に 付随するハード事業） 補助率：1/2	52,855	28,923	23,866 []
県内スポーツの 応援環境の充実 地域のスポーツ資源である様々な スポーツチームを最大限活用し、 県民の関心を高めるためのプロジェ クトの展開 ・広島横断型スポーツ応援コミュニ ティの運営 ・県民に多くのチームを知ってもら うためのデジタルコンテンツの 活用	38,494	40,000	39,045 []
スポーツアク ティベーションひ ろしま(SAH) の組織運営 スポーツを活用した地域活性化を推 進するためのスポーツアクティベ ーションひろしまを運営	26,265	25,160	21,363 []
合 計	117,614	94,083	84,274 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指標名	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
「わがまち ス スポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数	6市町	8市町	8市町
スポーツを直接観戦した県民の割合	23.1%	45.0%	28.4%

事業目標：

指標名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
公式ホームページPV数	55,000	100,000	HP改修のため

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

スポーツを活用した地域活性化の取組自体は、全国的にも緒についたばかりであり、県内市町においても知識やノウハウが不足している状況が見られるため、引き続き、SAHが人的支援等を進めていく必要がある。

全国トップリーグや地域において活躍しているスポーツチームが数多く存在する広島をを活かし、スポーツチームと連携した広島横断型スポーツ応援プロジェクト「TeamWISH」を令和4年3月から開始した。しかしながら、一部のチーム以外は広く県民に認知されていない状況であり、集客や広報などに対し、体制やノウハウがないなどの課題が見受けられる。

令和5年度の取組方向

全国での先進事例や県内での取組事例の紹介・共有を通じて、「わがまち~~ス~~スポーツ」の更なる県内展開に取り組む。

フロントスタッフの連携強化を促すカンファレンスを開催するとともに、県内25チームによる選手情報や試合等のデータを活用した、県民参加型のコンテンツの提供等を通じて、県民の各チームへの認知度向上と競技やアスリートへの興味・関心を喚起していく。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：企画費 目：企画総務費	領域	スポーツ・文化
担当課	文化芸術課	取組 の 方向	文化芸術に親しむ環境の充実
事業名	地域文化拠点強化事業（単県）【新規】		
目的			

市町や公立文化施設間のネットワーク体制を新たに構築し、文化資源や取組事例の共有等を通じて、各市町等が抱える、文化芸術事業の企画・運営に係る課題の解決支援に取り組む。また、モデル的に住民参画型の文化芸術事業を実施し、その事例を展開していくことで、地域における文化拠点を強化し、県民の身近において、地域の独自性ある魅力的な文化芸術イベントや良質な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図る。

事業説明

対象者

県民、公立文化施設、市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
広島県公立文化施設ネットワーク	公立文化施設ネットワークにおける取組を通じて、各市町等における文化芸術事業の企画・運営に係る能力等の向上を図る。 【主な取組】 ・各市町等有する文化資源や取組事例等の共有 ・文化芸術事業の企画・運営に資する調査・研究	4,413	4,413	3,913 []
地域住民参画型モデル事業	公立文化施設（3施設）を対象に、県による伴走支援の下、地域住民参画型の文化芸術事業をモデル的に実施し、地域の独自性ある事業の実施事例として各市町への展開を図る。	(債務 14,626) 15,569	(債務 14,626) 15,569	14,369 []
合 計		(債務 14,626) 19,982	(債務 14,626) 19,982	18,282 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
文化芸術について関心がある 県民の割合	77.0%	80.2%	72.0%

事業目標：

指 標 名	基準値	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
新たに企画実施された文化芸術イベント等の鑑賞者数		3,550 人	2,514 人

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

公立文化施設ネットワークにおいて、文化芸術事業の企画・運営に資する調査・研究等を行う企画研究部会(3グループで構成)の議論を踏まえ企画されたイベントのうち、1グループのイベントについては、より効果的な実施に向けて関係者等と調整した結果、令和5年度の実施となったことから、令和4年度の目標達成に至っていない。今後、新たな企画立案も含め、取組を加速させていく必要がある。

また、公立文化施設ネットワークでの取組に加え、県立美術館と広島市現代美術館による初の合同展開催やナイトミュージアムの実施など、幅広い層が楽しめる様々な企画により、県民が文化芸術に親しむ機会の確保に努めたが、文化芸術への潜在ニーズを喚起する魅力発信が十分に行えておらず、ワーク目標についても目標達成に至っていない。

令和5年度を取組方向

令和4年度に企画したイベント(広島交響楽団・広島ウインドオーケストラが県内各地の公立文化施設・学校14会場を巡回する音楽公演)を着実に実施する。

令和5年度からは、地域における文化拠点の更なる機能強化に向けて、外部有識者(県の文化芸術事業アドバイザー)を起用し、公立文化施設ネットワークの取組を発展させ、新たなイベント企画等に取り組む。

また、令和4年度から2か年で実施してきた地域住民参画型モデル事業においては、最終年度として、これまでの事業の効果検証を行ったうえで、当該事業の実施事例を各市町へ共有し、各市町での地域住民との協働を促す。

今後、G7広島サミットを契機に、国内外からの注目が高まっている美術館・縮景園の魅力発信など、本県が有する文化芸術の豊富なリソースを生かした企画を効果的に進め、県民が文化芸術に親しむ機会のより一層の充実を図る。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>平和</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取組の方向</td> <td>核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国籍枠組みの形成</td> </tr> <tr> <td>平和の取組への賛同者の拡大と世界への働きかけ</td> </tr> <tr> <td>広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>持続可能な平和推進メカニズムの構築</td> </tr> </table>	領域	平和	取組の方向	核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国籍枠組みの形成	平和の取組への賛同者の拡大と世界への働きかけ	広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築			持続可能な平和推進メカニズムの構築
領域	平和										
取組の方向	核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国籍枠組みの形成										
	平和の取組への賛同者の拡大と世界への働きかけ										
	広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築										
		持続可能な平和推進メカニズムの構築									
担当課	平和推進プロジェクト・チーム										
事業名	国際平和拠点ひろしま構想推進事業（単県）【一部新規】										

目的

世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

事業説明

対象者

県民、世界平和を希求するすべての人々

事業内容

(単位：千円)

区 分		内 容	当初 予算額	最終 予算額 1	予算 執行額 [繰越額] 2
核兵器廃絶 に向けた新 たな政策づ くりと多 国 間 枠 組 み の 形 成	政策づく り事業	世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に替わる新たな安全保障政策づくりを推進する。(ひろしまラウンドテーブル開催、核軍縮研究国際ネットワーク会議の運営、海外研究機関との共同研究、ひろしまレポート作成)	31,174	29,143	23,073 []
	多国籍枠 組み形成 事業【一 部新規】	国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国籍枠組みの形成を図る。(NPT運用検討会議での働きかけ、フレンズ会合設置準備、国際平和のための対話イベント)	21,564	15,832	15,594 []
平和の取組 への賛同者 拡大と世界 への働きかけ	国際社会 等へのア クトリチ 事業	国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。(国際会議等での働きかけ、賛同者拡大キャンペーン)	19,786	17,047	15,021 []
広島が有す る経験や資 源を生かした 復興・平和 構築	人材育成 強化事業	核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。(グローバル未来塾 in ひろしま、広島-ICAN アカデミー等)	11,800	8,970	8,108 []
持続可能な 平和推進メ カニズムの 構築	プラット フォーム 構築事業	多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。(世界平和経済人会議ひろしまの開催、WEBサイトを通じた賛同者拡大、へいわ創造機構ひろしまの運営等)	104,856	96,521	93,560 []
	拠点構想 推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。	11,523	8,054	5,289 []
合 計			200,703	175,567	160,646 []

1 令和4年度12月補正予算を含む。

2 端数処理の関係で積み上げた数値と合計額が異なる場合がある。

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
新たな政策に係る記事や論文等がメディアや研究者等から発信された数	2本 (R1実績)	6本	27本
国連等で意見表明する資格を有するNGO等と連携した数(累計)	-	5団体	7団体
県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被ばく者医療などについて学んだ人数	13,826人 (R2実績)	14,000人	14,337人
国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数の月間の平均値	13,826人 (R2実績)	17,000件	11,784件
プラットフォームに参加する企業・団体等の数(累計)	-	100団体	28団体

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

世界的な平和研究機関との共同研究の成果をNPT運用検討会議サイドイベントで発表するとともに、同機関の研究者によってSNSで積極的に拡散されたことで、目標を大きく上回る実績となった。今後も、NPT運用検討会議準備委員会などの国際会議開催の機会をとらえて、研究成果を基に、様々な主体と連携して、核抑止に替わる政策づくりの働きかけを行うことが必要である。また、国連の次期開発目標に核兵器廃絶が盛り込まれることを目指すため、外交交渉に携わる政府関係者を集めた「フレンズ会合」の設立準備を進めており、引き続き、日本政府に対してフレンズ会合を主導してもらうよう働きかけが必要である。

国連の次期開発目標に核兵器廃絶を盛り込むことを目指すため、市民社会側からの働きかけを行うグループ「グローバル・アライアンス「持続可能な平和と繁栄をすべての人に」」を4月に立ち上げ、国際的に影響力のあるNGO等と連携し、国連ハイレベル政治フォーラムの場を活用したサイドイベントを実施した。また、「広島-ICANアカデミー」やSNSを活用した「未来へのおりづるキャンペーン」などを実施し、平和の取組への賛同者拡大を図った結果、目標を達成することができた。今後も、核兵器廃絶が国際的合意となるよう、多様な主体との連携を広げていく必要がある。

研修やセミナーの一部をハイブリッド方式(対面とオンラインのどちらでも参加可能な実施形態)により開催し、より多くの方に平和について学ぶ機会を提供した。また、細分化されていた既存のオンライン平和講座をテーマごとに統合し、広く広報を行った結果、復興・平和構築にかかる人材育成の目標を達成した。一方、オンライン平和講座は公開から3年以上が経過し、年を追うごとに視聴者数が減少していることから、講座内容の充実や利用促進により視聴数の増加を図る必要がある。

国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数については、目標には到達できなかったものの、掲載内容の充実やSNS広告の活用などにより、ウェブサイト自体の認知度は高まりつつあり、実績に、SNS広告を経由したアクション数を含めると、令和3年度26,325件から令和4年度40,355件へと53%増加するなど、取組の成果は着実に表れていると考えている。

プラットフォームに参加する企業・団体等の数については、令和5年3月に、ウェブサイト上に

「へいわ創造プラットフォームひろしま」を開設したが、本格稼働が当初予定よりもずれ込んだことから、目標を達成することができなかった。今後は、プラットフォーム設立を周知するとともに、関係企業への積極的な声掛けにより、参加団体を拡大していく必要がある。

令和5年度の取組方向

核兵器なき世界の実現に向けた中期的な目標として、核抑止に頼らない安全保障に関する研究・政策づくりに取り組む。また、この研究テーマを価値あるものとして広げ、実務家や研究者、研究機関、シンクタンクなどでも活発に議論してもらうための環境づくりを行っていくとともに、フレンズ会合・プレ会合の開催に向けて、国際会議等の場を利用して、引き続き、政府関係者や研究者等との対話の機会を設けていく。

国連や各国政府への働きかけ強化のため、「グローバル・アライアンス「持続可能な平和と繁栄をすべての人に」」を通じて、多様な主体とのネットワーク強化を図り、NPT運用検討会議準備委員会等の国際会議での問題提起や賛同者拡大キャンペーン等を実施する。

「グローバル未来塾 in ひろしま」や「広島-ICAN アカデミー」等を継続して実施するとともに、オンライン平和講座については、新たなコンテンツの作成や県内外の教育機関に対する平和学習での利用促進により、広島の被爆・復興について深く理解し、平和貢献できる人材の育成に取り組む。また、本県の平和の取組を積極的に発信する。

プラットフォームが稼働開始し参加呼びかけの環境が整ったことから、目標達成に向け、関係企業への積極的な声掛け等に取り組む。また、G7広島サミットの機会を活用し、世界平和経済人会議や多様な主体が参画する平和推進イベントの開催、サミット特設WEBページの充実、国際メディアセンターにおける広島の平和の取組に関するバナー展示や書籍の配架などにより、効果的な情報発信を行い、平和の取組への賛同者の拡大を図る。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：観光費 目：観光費
担当課	観光課
事業名	おもてなしトイレ整備事業(単県)

目的

観光地等における受入環境の充実は重要な課題であり、とりわけ、トイレ環境は、観光地に対する印象に大きく影響することから、インバウンドを含む観光客の満足度向上を図るため、県有観光施設等におけるトイレの洋式化などの整備を行う。

事業説明

対象者

本県を訪れる観光客等

事業内容

(単位：千円)

区 分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
県有施設の トイレ整備	観光客の満足度向上のため、県有観光施設等におけるトイレ洋式化など、おもてなしトイレの整備を行う。(宮島紅葉谷中、県立歴史博物館、縮景園等)	(債務 60,200) 223,498	(債務 60,200) 223,498	188,461 []
	令和4年5月に焼失した帝釈峡神龍湖駐車場トイレについて、おもてなしトイレとして復旧整備工事を行う。		(債務 43,800) 29,200	27,588 [1,612]
市町所有施設のトイレ整備	市町所有の県内観光施設のトイレ洋式化等のおもてなしトイレ整備について、経費の1/2以内で、所有市町に対して補助する。	11,574	11,574	5,299 []
合 計		(債務 60,200) 235,072	(債務 104,000) 264,272	221,348 [1,612]

令和3年度当初予算、令和4年度12月補正予算を含む。

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
観光地におけるトイレの洋式化率	67%		71%

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

県有観光施設等におけるトイレの洋式化について、令和5年度に洋式化率が75%程度となることを目指して取り組んでおり、令和4年度は71%まで整備できている。今後も外国人観光客の増加が見込まれる中、引き続き観光客が利用したいと思える快適で清潔なトイレ整備に取り組んでいく。

令和5年度の実施方針

インバウンドを含む観光客の満足度向上に向けて引き続きトイレの洋式化などの整備を行う。